

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

たくましく生きる力をもち、夢と思いやりのある人間性豊かな浅井北っ子を育成する。

●めざす児童像

よく考え 自ら学ぶ子

- ・よく考え、意欲的に取り組む子
- ・友達との学び合いの中で、生き生きと活動する子

きまり正しく 心豊かな子

- ・生活のマナーを身につけ、きまりを守って友達と協力する子
- ・だれにでも思いやりの心で接し、元気に明るくあいさつする子

健康で たくましい子

- ・健康の大切さを知り、進んで心身を鍛える子
- ・目標をもち、何事にもがんばりぬく子

●めざす学校像「安全・安心で信頼される学校」

- ・学ぶ楽しさを感じる学校
- ・助け合い、居場所のある学校
- ・安全できれいな学校

(2) 経営方針

- ・活気と静けさがあり、個が輝き、集団の中で高め合える学校の実現
 - ・「思いやりの輪を広げる」(優和)「これならできる」(自立)学校の実現
 - ア 教育目標の具現化のため、学び合う教職員集団を目指すとともに、教職員一人一人の持ち味を生かして、活力ある学校づくりに努める。
 - イ 児童一人一人のよさを認め、「確かな学力(知)」「豊かな心(徳)」「健やかな体(体)」をもった児童を育成する。
 - ウ 家庭・地域社会との協力を密にし、「信頼される学校」づくりに努める。
- ◎児童の気持ちに寄り添い、「優しい口調で、厳しい指導」を心がける。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力の育成

～わかる・できる・身につく・活用できる力を育てる授業の実現～

- ・規律ある授業を作るための環境づくりを基盤とし、「読み・書き・計算」に代表される基礎学力の定着を図る。
- ・「ふりかえり」を活用した授業展開を図り、児童の学習意欲向上と学習内容の確実な定着、及び、思考力・判断力・表現力を育成する。
- ・グループワークやペア対話などを取り入れた授業づくりに心がけ、協働的な学びの充実を図る。
- ・外部講師を活用して現職教育の充実を図り、指導力の向上を目指す。
- ・児童に情報モラルを身につけさせるとともに、必要な情報を活用できる力の育成を図る。
- ・異文化への理解を深める国際理解教育を推進し、外国語教育の充実を図る。

イ 豊かな心の育成

～自分で考え行動することを大切に、互いを認め尊重し合う教育の実現～

- ・学級や学校がどの児童にとっても安心して過ごせる「居場所」となるよう、児童とともに活動の意義や目的を確認し、児童が自己肯定感や充実感を感じられる学校生活の実現を図る。

- ・学級や学校が、「互いの思いやりをつなげ、広げる場」となるよう、様々な集団活動に参画する場を設定し、集団の目的に向け、意見の違いや多様性を認め合いながら成長できる場を設定する。
- ・地域で学ぶ体験活動や道徳の時間の充実を図り、社会の一員としての道徳的心情の高揚を図る。
- ・特色ある教育活動である福祉施設訪問活動を中心に据え、福祉実践教室・道徳教育・人権教育などを通じて互いを認め合い尊重し合う心を育む。
- ・読み聞かせや読書週間、家読の充実を図り、読書を通して豊かな感性を育む。
- ・共感的な児童理解をもとに相談活動を充実し、全校体制でいじめ・不登校の未然防止に努める。

ウ 健やかな体の育成

～自他ともに、健康で安全な生活を送る実践力が身につく教育の実現～

- ・望ましい生活習慣の定着を図り、健康で安全な生活を送るための基礎を育てる。
- ・運動の楽しさを体験させ体力の向上を図るとともに、食育・健康教育の充実を図り、心身の健康についての正しい知識と実践を身に付けさせる。
- ・危険予知トレーニング（KYT）や多様な想定での避難訓練など安全意識を高める指導を継続し、安全教育の充実を図る。

エ 信頼される学校づくり

- ・校内現職教育や校外研修を通して、研究と実践を重ね、教師としての指導力・専門性を高める。
- ・学校ウェブサイトの更新に努め、学校の教育活動を公開し、家庭・地域社会からの信頼と協調が得られるように努め、開かれた学校づくりに努める。
- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進により、小中学校の連携を深め、地域住民や保護者などの学校運営への参画を進め、信頼される学校づくりに努める。
- ・地域と連携を図りながら、安全・安心な学校づくりに努める。
- ・子どもたちと向き合うため、多忙化解消に向けて業務改善に努める。